



品質検査装置 PIS2500

Quality

品質検査カメラ

全数検品

抜き取りと違って、たった一枚の不良品も見逃しません。

履歴の管理

どの仕事の何枚目でどんなエラーが出たのかが記録に残り、のちの原因究明やフィードバックにも役立ちます。

安定した品質を求めて

印刷機は一時間に一万枚を越えるスピードで印刷しています。それをすべて目で見て確認することは不可能ですから、通常はとところどころ抜き取って、色ムラや汚れなどの異常がないか目視にてチェックします。しかし、この方法では見落としもありますし、抜き取って不良品が発見されるまでの間に刷ったものすべてが不良品ということになり、紙も時間も大幅にロスしてしまいました。

一方、品検カメラは高速で刷り上がる印刷物をすべてチェックしています。見本との相違を用紙の隅々まで確認するのです。万が一、そこでOKを出したものがのちのち問題になった場合も、履歴が残っているので大丈夫。いつ刷ったどの仕事の何枚目、という記録を見て、後から検証できるので、二度と同じ失敗を繰り返さず、よりよい製品を作るための糧とすることができます。



H-UV機 検査カメラ

KPM

～KOMORI Preventive Maintenance(小森式予防保全)～

印刷機械メーカー KOMORI の協力を得て、予防保全活動を行っています。日々のメンテナンスで機械の状態を常に良好に保ち、突発事故を防ぐ取り組みです。毎月メンテナンス日には機械の調整や工場の清掃、座学なども行います。現場の整頓やオペレータの意識向上など、職場環境の改善にも役立っています。





目進 月歩

中心の軸は豊富な知識。
お客さまとのスムーズなやりとりや
工程の効率化、安全性向上のため
全工程を見渡し未来を予見して
最上の手を打つ。

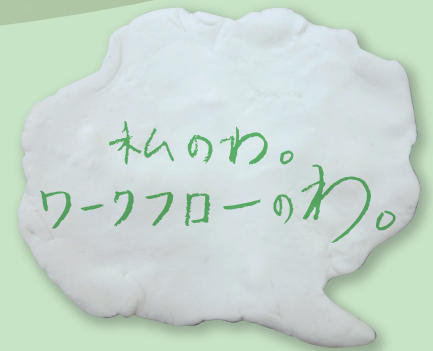
知識の力と人の力で高い技術力を維持

印刷という製造業の技術力を支えるのは、日々刻々と変わり続けるデジタルテクノロジー。万全なセキュリティで守られたデータのやり取りから始まって、事故のないデータ処理、後工程を考慮した面付け作業、正確で迅速な CTP 出力と、さまざまな工程に深く関わってきます。その中でも重要な役割を担うのが、カラーマネジメント。印刷本機で刷る色を正確に把握するとともに、アミ点の調整や色見本を出力するプリンターとの整合も欠かせません。製品の品質

に直接関わることだけに、妥協を許さない姿勢が必要です。

また、二重検版制度では多くのミスを発見、数々の重大なトラブルを未然に回避してきました。

当社には DTP エキスパート、写真製版の専門スタッフがおり、知識と技術を常に最高水準に保つことで、自信を持ってお客さまの要求におこたえます。印刷のお困りごとはどうぞトヨインにお任せください。



データを後工程に受け渡す中間の位置にあつて、常に効率を考え、作業を進めています。システム課は常に新しい技術が出てくる部門です。それらを見落とさず、本当に必要なもの、役に立つものを吟味して取り入れワークフローを見直し、日々進化を続けなければなりません。お客さまはもちろん、会社中からパソコンのこと、ネットワーク環境のことなど問い合わせを受けますが、知識や技術を信頼されている証だと光榮に思っています。

システム課
藤井 康成

